

ナーシング通信

社会福祉法人 東翔会
西水元ナーシングホーム
NO.17 発行 令和3年5月

ナーシングホームの春

「コロナ」で緊張の続く毎日ですが、ナーシングにも春が訪れました

昨年の春先からのコロナ禍で、社会の緊張が続く毎日。

私たちスタッフにとっても、他の高齢者施設でのクラスター（集団感染）の報を耳にするたびに、他人事とは思えず、ご利用者が感染しないようにと身が引き締まります。

ご利用者の皆様は、持病や加齢のため発熱することがたびたびあります。念のために、医師

の指示でPCR検査を何人かの方にお受けいただきました。その間は、隔離された個室でお過ごしいただきます。

「陰性」の連絡があるとホッとします。コロナが早く終息し、ご家族の皆様と自由にお会いいただけるように願わずにはられません。

緊張の続く毎日ですが、ナーシングにも、うららかな春が訪れました。

（*プライバシー保護のため一部の写真は画像処理をしています。）



大場川堤でお花見



ナーシングの前庭も春です

ナース アーバン

(*一部の写真は画像処理をしています。)

ある日のナーシング

新型コロナウイルスワクチン接種



老人ホームは、24時間、共同生活の場です。コロナ感染が発生すると集団感染や重症化が危惧されます。

そこで医療従事者の次に、特別養護老人ホーム入所者へのワクチンの優先接種が行われます

ナーシングでも、接種準備が整い次第ご同意いただいた利用者様並びに職員に嘱託医がワクチン接種を行います。3週間の間隔をあけて2回接種を行います。



電動ベッド20台が到着(3月)



ベッドを組み立て、動作確認(3月)
今後も計画的にベッドを更新していきます



ご利用者にテレビをお楽しみいただくため、食堂のテレビを大型のものに入れ替えました(4月)



ご利用者のK様の笑い声が事務室にあふれます(4月)



ブレンダー(写真中央の業務用の高性能ミキサー)を利用した「ミキサー食」を給食会議で試食。素材の味をより生かすことができると導入を決定(3月)

ご面会は

東京都の「まん延防止等重点措置」の適用に伴い、ご面会の自粛をお願いしています。

緊急事態制限が解除され、この間ビニールシート越しにご面会をしていただいております。

しばらくの間、ご協力をお願いします。適用解除となりましたら、状況を見て再開いたします。

なお、緊急性のある場合には、ご相談ください。



地元町会(西水元塚谷町会)と災害時にお互いに協力しあう目的で「相互応援協定」を結んでいます。

町会、金町消防署の皆様にお集まりをいただき訓練を行いました。コロナ禍のため屋外での確認訓練としました(3月)

なお、地震時には「福祉避難所」として葛飾区から指定されています

春の装飾

介護スタッフが仕事の合間に制作。華やいだ雰囲気



食堂も廊下も「桜」が満開



菖蒲の飾りも

通信第6号から編集を担当してまいりました。ナーシングの様子を皆様にお伝えすることが出来たでしょうか。次号からは担当をバトンタッチします。引き続き、皆様にナーシングのイキイキした様子をお伝えできる通信を目指してまいります。(H)